

第 6 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

6 年 1 組 指 導 者 池 永 亜 由 美

単 元 登 場 人 物 同 士 を 関 連 付 け な が ら 中 心 人 物 に 迫 ろ う 「 海 の 命 」

1 本単元で子供が創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

登場人物同士の相互関係に基づいた表現に着目すること

2 本単元について

本学級の子供たちは、「なまえつけてよ」や「帰り道」の学習をとおして、登場人物の心情を表す叙述をもとに、登場人物同士の関わりや関係の変化を捉えてきた。このような子供たちが、登場人物の相互関係に基づいた行動や会話、情景などの表現に着目しながら中心人物の人物像を具体的に想像する学習を行う。このことは、各場面と登場人物の心情や行動、情景などの描写を関連付けて文章を深く理解し、文学的な文章を読み味わうことにつながるであろう。

本単元は、登場人物同士を関連付けながら中心人物の心情を捉え、その人物像を具体的に想像する学習である。本教材は、中心人物の心情が直接的に表現されておらず、周辺人物との関係や周辺人物の言動を通して暗示的に表現されている。周辺人物である与吉じいさやおとう、母の生き方や考え方と、中心人物である太一の心情を関連付けながら読むことで、太一の人物像を具体的に想像することができる。子供は教材文を読む中で、太一の行動に疑問をもち、太一の心情を読み解こうとするであろう。その際子供が、太一の心情を周辺人物の生き方や考え方と関連付けて読むことを大切にしたい。そうすることで、直接的に表現されていない太一の心情は、周辺人物と関連付けることで読み解くことができると気付くであろう。そのような読みの経験を重ねることは、他の物語に出合った際に複数の叙述を関連付けて読み、暗示的に表現されている心情を深く理解して、人物像を具体的に想像することにつながると思う。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子供の姿の実現を図る。

- 中心人物の心情と関連している周辺人物について話し合うよう促す。そうすることで、登場人物同士の相互関係に基づいた表現に着目することができるようにする。【創】
- 中心人物の心情をどのように読み解いたのか問う。そうすることで、登場人物同士の相互関係に基づいた表現に着目することのよさに気付くことができるようにする。【受】
- 中心人物の心情を読み解く視点を問う。そうすることで、登場人物同士の相互関係に基づく表現に着目し、中心人物と周辺人物を関連付けて読むことができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 登場人物の相互関係に基づいた表現から、人物像を具体的に想像することができるようにする。
- 登場人物の相互関係に基づいた表現に着目しながら、文学的な文章を読もうとする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○表現の工夫に気付き、その効果を理解することができる。	○登場人物の相互関係に基づく表現から、中心人物の人物像を具体的に想像することができる。	○登場人物の相互関係に基づく表現に着目して読むことに、進んで取り組むことができる。

5 指導計画（全6時間）

- 第 1 次 初発の感想をもとに、心に残ったことや読み深めたいことについて話し合う（2時間）
- 第 2 次 登場人物の相互関係に基づく表現に着目しながら中心人物の人物像を捉える（3時間）【本時2／3】
- 第 3 次 登場人物の生き方について感想を交流し、考えを広げる（1時間）

6 本時案 【令和4年10月22日 10:20~11:05 6年1組教室】

- (1) ねらい 登場人物同士の相互関係に基づいた表現に着目しながら問いについて話し合うことをとおして、中心人物の心情を捉えることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 太一の心情について考えたことを話し合う。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の見通し ・暗示的に表現されている中心人物の心情 	<ul style="list-style-type: none"> ・太一が生涯だれにも話さなかったことを、疑問に思った人が多かったね。 ・「話せなかった」のではなく「話さなかった」という表現に意味がありそうだよ。 ・「もちろん」という言葉からは、太一の思いを感じられるね。 <p>A 太一はあえて誰にも「話さなかった」のだね。その理由は何だろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>太一はなぜだれにも話さなかったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・太一の言動からだけでは分からないよ。 <p>B <u>今回も与吉じいさやおとうの言動と関連付けると太一の心情が分かりそうだな。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クエを打たなかったのは、太一がクエを海の命だと思ったからだったね。 ・太一が村一番の漁師であり続けたのは「海の命」を守ってきたからだと思うよ。 <p>B <u>与吉じいさの「千匹に一匹でいい」という考えが、太一にとって海の命を守ることだったのではないかな。</u></p> <p>A クエを打とうとしたことを太一は、村一番の漁師ではないと考えたのだね。だからそのことを人に話したくなかったのか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>太一の心情をどのようにして考えましたか。</p> </div>	<p>○太一の心情を読み解く視点を問う。そうすることで、他の登場人物と関連付けながら考えるという解決の見通しをもつことができるようにする。 【転】</p> <p>○太一が大事にしている思いを発言した際は、着目した表現を問う。そうすることで、太一の心情と、周辺人物の生き方や考え方を関連付けることができるようにする。 【転】</p> <p>○太一の心情をどのように読み解いたのかを問う。そうすることで、登場人物の相互関係に基づいた表現に着目することのよさに気付くことができるようにする。 【受】</p>
<p>2 本時の学習を振り返る。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物同士の相互関係に基づいた表現に着目することのよさ 	<p>B 前回話し合ったことと関連付けて考えると太一の心情が分かったよ。</p> <p>A <u>文章に直接表れていなかったけれど、与吉じいさやおとうの言動から太一の心情が分かったね。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達はなぜ題名が「海の命」なのか分かった気がすると言っていたよ。次回は題名について関連付けながら考えてみたいな。 	<p>○太一の心情をどのように読み解いたのかを問う。そうすることで、登場人物の相互関係に基づいた表現に着目することのよさに気付くことができるようにする。 【受】</p>

7 創る科における子供の学びと本単元との関連

創る科「関連付ける力」の学習では、様々な物事を関連付けることをとおして、新たな考えを導き出すことを学んできた。本単元では、中心人物の心情と周辺人物の言動を関連付けながら、中心人物の心情を捉える姿が期待できる。このことは、複数の物事を関連付けながら考えようとする姿につながるであろう。